

平成30年度 学校評価（教職員自己評価）

（4：十分 3：ほぼ十分 2：やや不十分 1：不十分）

基本方針	評価項目	評価(4段階)			比較
		H29.7	H29.12	H30.7	増減
重点目標	1 【自ら考え】自分から進んで考え、行動できるように指導している。	3.3	3.4	3.2	0.2 ↓
	2 【力を合わせ】認め合い、励まし合い、協力し合って活動できるように指導している。	3.4	3.4	3.5	0.1 ↑
	3 【やりぬく】最後まであきらめずに粘り強くやりぬくように指導している。	.	.	3.5	—
	4 【どこでもあいさつ】いつでも、どこでも、だれにでも進んで挨拶ができるように指導している。	3.2	3.2	3.6	0.4 ↑
確かな学力	5 地域素材の教材化・地域の人材活用と体験的学習，問題解決的学習の推進に努めている。	3.6	3.8	3.7	0.1 ↓
	6 ユニバーサルデザインの視点を生かし、どの子ども参加できわかりやすい授業を心がけている	3.6	3.5	3.4	0.1 ↓
	7 一斉授業とアクティブラーニングのバランスを重視した、「やる気」と「動き」の見える授業を構築している。	3.3	3.3	3.3	→
	8 書いたり、読んだり、話し合ったりするなど、言語活動の充実を図る授業・学習活動づくりに努めている。	3.7	3.8	3.3	0.5 ↓
	9 基礎的・汎用的能力、ICT活用能力の育成を図っている。	3.1	3.4	3.1	0.3 ↓
	10 評価を指導の改善に生かしながら、子どもの可能性を引き出し、よさを伸ばすように努めている。	.	.	3.4	.
	11 習得した学習内容の定着を図るため、宿題や家庭学習などの指導の工夫に努めている。	3.7	3.7	3.4	0.3 ↓
豊かな心	12 指導計画にそって、振り返りシートを活用しながら、心に響く道徳の授業づくりを行っている。	2.6	2.8	3.1	0.2 ↑
	13 共感的な児童理解と信頼関係に基づく生徒指導の充実にも努めている。	3.6	3.5	3.4	0.1 ↓
	14 子どもの情報や問題行動について、共有化し組織的な対応を行っている。	3.5	3.4	3.4	→
	15 いじめ根絶に向け、「途別小学校いじめ防止基本方針」に基づく対応に努めている。	3.7	3.8	3.5	0.3 ↓
	16 特別な教育支援を要する児童に対応できる全校指導体制の工夫を図っている。	3.8	3.8	3.6	0.2 ↓
健やかな体	17 子どもの体力向上に向けて、体力テストの活用をはじめ、体育の授業改善や遊びの重視に努めている。	3.3	3.1	3.1	→
	18 全ての教育活動を通して、子どもの安全確保に努めている。	3.6	3.7	3.4	0.3 ↓
	19 児童自ら健康安全に努めようとする習慣や態度の育成に努めている。	3.5	3.7	3.2	0.5 ↓
	20 学ぶ意欲と豊かな心を育てるきれいな学校づくり（清掃・掲示物）に努めている。	3.4	3.3	3.3	→
開かれた信頼される学校	21 学校や学級の教育目標の達成に向けた意欲的な経営参画をしている。	3.5	3.6	3.4	0.2 ↓
	22 学校経営方針に基づく校内研修の確立と計画的な推進に努め、授業改善を通じて、資質や専門性の向上に努めている。	3.3	3.3	3.3	→
	23 職能向上に向けた研修機会や会議等に積極的に参加している。	2.8	3.0	2.8	0.2 ↓
	24 学校の教育活動について、広く地域や保護者に公開し説明している。	3.5	3.7	3.6	0.1 ↓
	25 一人一人のよさを把握する評価を行い、保護者への説明責任を果たしている。	3.7	3.4	3.5	0.1 ↑
	26 保護者・地域の願いや思いを真摯に受け止め、対応している。	3.7	3.6	3.5	0.1 ↓
	27 教育公務員としての服務規律の順守に努めている。	3.7	3.7	3.5	0.2 ↓

☆1学期の結果から2学期に向けて

- ・挨拶の指導に努めることができ、その成果も表れていました。2学期も継続して取り組んでいきます。
- ・研修会・研究会等にできるだけ参加し、職能向上に努めていきます。
- ・言語活動の充実など授業改善や家庭学習の指導工夫に努めていきます。